

先遣隊以外の DPAT に係る現状調査（対象：先遣隊以外の DPAT 隊員）

＜本調査における各 DPAT の定義＞

先遣隊：DPAT 事務局主催の先遣隊研修を受講した DPAT

先遣隊以外の DPAT：各自治体主催の都道府県等 DPAT 研修を受講し、DPAT 事務局主催の先遣隊研修は受講していない DPAT

都道府県等 DPAT：先遣隊＋先遣隊以外の DPAT

（※Google フォームの形で以下を選択・記載していただく）

1. 性別

男・女

2. 年齢

20代・30代・40代・50代・60代・70代以上

3. 所属都道府県

北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

4. 現在の主たる勤務先

国立病院機構・自治体病院・地方独立行政法人・医療法人（精神科単科病院）・医療法人（総合病院）・診療所・精神保健福祉センター・都道府県庁・その他

5. 現在の職種（複数回答可）

医師・看護師・保健師・薬剤師・精神保健福祉士・臨床心理技術者（公認心理師含む）・作業療法士・事務職・その他

5-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

6. 過去、実災害において DPAT として活動したことはありますか。

ある・ない

6-1. 上記6で「ある」とお答えいただいた方にお聞きします。過去、DPAT としてどのような災害で活動されましたか（複数回答可）。

平成 26 年 8 月豪雨・平成 27 年 9 月関東・東北豪雨・平成 28 年熊本地震・平成 28 年那須雪崩事故・平成 29 年九州北部豪雨・平成 30 年 7 月豪雨・平成 30 年北海道胆振東部地震・令和元年横浜市内京急列車事故・令和元年 8 月豪雨・令和元年台風 15 号・令和元年台風 19 号・令和元年新型コロナウイルス感染症帰国者施設対応・令和元年新型コロナウイルス感染症 DP 号対応・令和 2 年 7 月豪雨・令和 3 年 7 月豪雨・令和 3 年 8 月豪雨・都道府県外における新型コロナウイルス感染症対応・都道府県内における新型コロナウイルス感染症対応・上記以外の災害等

6-2. 「上記以外の災害等」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

7. 上記 6 で「ある」とお答えいただいた方にお聞きします。どのような活動をされましたか（複数回答可）。

DPAT 調整本部業務・DPAT 活動拠点本部業務・被災病院等指揮所業務・被災病院業務支援・被災病院からの患者・職員避難・身体科におけるリエゾン対応・緊急入院対応・避難所での診療・相談・支援者支援・普及啓発・その他

7-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

8. 上記 6 で「ある」とお答えいただいた方にお聞きします。活動における課題は何でしたか（複数回答可）。

出発準備・業務調整・資機材準備・宿泊先・移動手段の確保・DPAT 調整本部業務・DPAT 活動拠点本部業務・被災病院等指揮所業務・被災病院業務支援・被災病院からの患者・職員避難・身体科におけるリエゾン対応・緊急入院対応・避難所での診療・相談・支援者支援・普及啓発・活動のイメージづくり・他支援チーム・保健師等との連携・情報共有・DPAT 間の情報共有・引き継ぎ・EMIS・J-SPEED の操作・報告書作成・派遣後の休養確保・業務調整・感染対策・その他

8-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

9. 貴方は災害が起きた際、いつから活動を開始できますか

発災後 48 時間以内・発災後 48 時間から 1 週間以内・発災後 1 週間以降・上記期間では調整困難・現状活動困難

9-1. 「現状、活動困難」を選んだ方は、その理由を以下に記載してください。

10. 貴方の所属機関に以下の装備は準備されていますか。

10-1. 薬剤・医療器材（複数回答可）

標準薬剤（精神科）・標準薬剤（その他）・医療関連器材

10-2. 標準ロジスティクス関連器材（複数回答可）

通信機器・記録機器・生活用品・雑品・非常食・調理器具

10-3. 個人装備

服装

11. 先遣隊以外の DPAT の役割として、貴方が認識している活動はどれですか。

11-1. 本部活動（複数回答可）

調整本部、または、活動拠点本部の立ち上げ・DPAT 調整本部の運営・DPAT 活動拠点本部の運営・その他

11-1-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

11-2. DPAT 派遣の判断（複数回答可）

追加派遣要請の判断・その他

11-2-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

11-3. 現場活動（複数回答可）

被災病院業務支援・被災病院からの患者・職員避難・身体科におけるリエゾン対応・緊急入院対応・避難所での診療・相談・支援者支援・普及啓発・その他

11-3-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

11-4. 技術的な活動（複数回答可）

クロノロジーの作成・EMIS の使用・J-SPEED／災害診療記録の使用・衛星電話の使用・その他

11-4-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

11-5. 連携体制の構築（複数回答可）

他の支援チームとの連携・精神科医療機関との連携・身体科医療機関との連携・精神保健福祉センターとの連携・保健所との連携・避難所管轄市町村との連携・その他

11-5-1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

12. 貴方が先遣隊以外の DPAT 活動を行うにあたり、不安な点がありますか。

12-1. 本部活動（複数回答可）

調整本部、または、活動拠点本部の立ち上げ・DPAT 調整本部の運営・DPAT 活動拠点本部の運営・その他

1 2 - 1 - 1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

1 2 - 2. DPAT 派遣の判断（複数回答可）

追加派遣要請の判断・その他

1 2 - 3. 現場活動（複数回答可）

被災病院業務支援・被災病院からの患者・職員避難・身体科におけるリエゾン対応・緊急入院対応・避難所での診療・相談・支援者支援・普及啓発・その他

1 2 - 3 - 1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

1 2 - 4. 技術的な活動（複数回答可）

クロノロジーの作成・EMIS の使用・J-SPEED／災害診療記録の使用・衛星電話の使用・その他

1 2 - 4 - 1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

1 2 - 5. 連携体制の構築（複数回答可）

他の支援チームとの連携・精神科医療機関との連携・身体科医療機関との連携・精神保健福祉センターとの連携・保健所との連携・避難所管轄市町村との連携・その他

1 2 - 5 - 1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

1 3. 貴方は DPAT 隊員として、質の維持及び向上のため、また、スムーズな活動を行うため、どのようなことを行っていますか（複数回答可）。

都道府県等 DPAT 技能維持研修への参加・都道府県等 DPAT 技能維持研修へのファシリテーター参加・大規模地震時医療活動訓練への参加・DMAT との合同研修への参加・他自治体と合同のブロック訓練への参加・院内研修会・訓練の立ち上げ・DPAT 研修の資料の復習・管轄自治体との協定締結・活動時における保険加入（医療機関において加入）・その他

1 3 - 1. 「その他」を選んだ方は、その内容を以下に記載してください。

アンケート調査は、以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。